

平成 23 年度 予算・定数・機構編成について

■ 平成 23 年度は、市議会議員及び市長の選挙が実施されることから、骨格予算として編成

◎ 予算・定数・機構編成のポイント

- 「さっぽろ元気ビジョン第2ステージ」を踏まえ、「伸ばすべきものは伸ばし、変えるべきものは思い切って変える」という基本方針を堅持
- 継続的な事務事業などに関する経費を中心とした骨格予算として編成
- 市政運営に空白が生じないよう、子どもや福祉などの分野における今日的な課題に対応するとともに、札幌の新たな魅力を高めるため、都市基盤の整備に注力
- 地域経済の活性化や産業振興にかかる事業に間断なく取組むとともに、昨年度を上回る建設事業費を確保。また、その他の分野においても新たな雇用機会の創出が見込まれる事業を意識
- 現下の厳しい経済・雇用情勢への対応として、当初予算にあわせて国の経済対策に呼応した補正予算を編成し、地域経済の活性化に資する事業を展開
- 行財政改革の取組としては、市民生活への影響を出来るだけ抑えつつ、事務事業の見直しを実施
- 機構・定数についても、スクラップアンドビルドを基本として、生活保護世帯の増や保育所整備などに対応する一方で、小学校統合再編や消防出張所機能統合に伴う集約化などを実現

● 予算総額

(単位：百万円、%)

区 分	平成 23 年度	平成 22 年度	増減額	増減率
一般会計	846,400	822,900	23,500	2.9%
特別会計	323,472	310,810	12,662	4.1%
企業会計	249,988	256,042	▲6,054	▲2.4%
合 計	1,419,860	1,389,752	30,108	2.2%

● 組織・体制

- 路面電車活用検討体制の強化
- 『産業振興ビジョン』推進体制の整備
- 生活保護自立支援事業実施体制の整備
- 自転車施策の推進体制の整備
- 生物多様性関連業務推進体制の整備
- 水道局料金センター・配水管理事務所の再編（7月） など

<管理職ポスト 10%削減>

平成 19 年 4 月の 944 人から、4 年間での削減目標 95 人を上回る 99 人の削減を達成

● 職員定数

平成 22 年度職員定数 14,225 人 ⇒ 平成 23 年度職員定数 14,148 人（77 人の定数減）

- 生活保護世帯数の増加による増
- 要介護認定、障がい福祉関連業務の増加による増
- 保育所整備関連業務の増加による増
- 市立病院の診療体制強化による増
- 市立幼稚園の閉園による幼稚園教諭等の減
- 創成・駅前整備事業の終了による減
- 小学校の統合再編による学校職員の減
- 琴似出張所の八軒出張所への機能統合による消防職員の減 など

● 予算の主要事業

◇ 地域経済・雇用対策

雇用創出効果の高い事業を積極的に計上
重点分野雇用創造事業などで1,160人の雇用を創出
母子家庭自立支援給付の受給者を拡大(51人→115人)
『札幌みらい資金』の創設(融資枠100億円)
総額705億円(対前年度38億円増)の普通建設事業費を確保
企業誘致の推進

◇ 行政課題への対応

<子ども・子育て>

保育定員を大幅に拡大(1,300人増)
放課後児童クラブの対象学年を拡大(小3→小4まで)
子ども手当の支給額拡大(3歳未満13,000→20,000円/月)
幼稚園、小中学校の特別支援教育を強化
ハローミュージアム事業を市内の全小学校に拡大
姉妹都市間の子どもの交流を促進

<高齢者・障がい者福祉>

特別養護老人ホームの定員拡大(218人増)
障がいのある方に対して消費者被害防止の取組を実施
元気ショップの拡充に合わせて販売体制を強化

<都市の魅力を高める取組>

通年型カーリング場を建設
『500m美術館』の常設化
地下空間などの活用によるにぎわいづくり
円山動物園にアジア館を建設

◇ 持続可能な財政運営のための取組

市債の発行額を元金償還額の範囲にとどめて、
後年次の負担増を回避
市民生活への影響をできるだけ抑えつつ、
事務事業の見直しを実施

《さっぽろ元気ビジョン第2ステージの施策体系別の主要事業》

～ 主 要 事 業 ～ ◎は新規事業、○はいづろアップ事業 () 内は事業費 単位は千円

子どもを生み育てやすく、健やかににはぐくむ街	○児童会館運営管理 (2,270,505)	○スクールカウンセラー活用事業 (223,681)
	私立保育所新築・増築費補助 (2,514,593)	○私立幼稚園特別支援教育事業費補助 (156,809)
	◎私立認定保育所整備費補助 (187,185)	○特別支援教育関係 (163,173)
	○感染症予防 (3,872,254)	◎姉妹都市少年交流事業 (5,000)
	小・中学校増・改築 (4,347,000)	○子どもの美術体験事業費補助 (12,000)
主体的な活動が生まれ、経済の活力みなぎる街	◎白石区複合庁舎基本計画策定 (10,000)	○若年層就業促進事業 (28,400)
	◎札幌みらい資金貸付 (4,526,500)	◎新たな担い手対策事業 (9,171)
	重点分野雇用創造事業など (2,411,755)	◎商店街再生事業 (24,400)
	〔 ◎新卒未就職者・若年求職者人材育成事業 (665,033) 〕	◎公共交通ICカード導入推進 (1,074,000)
	〔 ◎道内連携マッチング事業 (5,838) ほか 〕	新産業誘致促進事業 (91,000)
高齢者・障がい者へのぬくもりあふれる街	特別養護老人ホーム新築費補助 (602,000)	○障がい者「元気ショップ」運営事業 (37,881)
	○災害時要援護者避難支援対策 (2,320)	○市有建築物バリアフリー改善事業 (38,900)
	○消費者被害防止ネットワーク事業 (1,800)	歩道のバリアフリー化 (1,650,000)
	○消費者行政活性化事業 (3,432)	安全・安心な公園再整備事業 (773,000)
安全・安心で、人と環境にやさしい街	木立を感じる街づくり事業 (145,400)	生ごみ減量市民力推進事業 (28,937)
	環境負荷低減へ向けた市有建築物整備事業 (169,100)	○安全・安心な食のまち・さっぽろ推進事業 (16,300)
	アジア館建設 (579,000)	消防救急デジタル無線共同整備 (940,000)
	◎再生可能エネルギー推進事業(雪冷房設備) (9,270)	保全推進事業等 (2,186,000)
文化の薫る、都市の魅力が輝き、にぎわう街	カーリング場建設 (1,464,000)	○500m美術館整備 (69,000)
	◎札幌ドーム保全計画策定 (20,000)	○創成川アートワーク事業 (5,474)
	北海道新幹線推進 (20,000)	路面電車活用計画検討調査 (14,400)
	札幌駅交流拠点再整備構想策定 (7,000)	○藻岩山魅力アップ事業 (430,838)

《問い合わせ先》

○機構関係：市長政策室 行政改革担当課
○定数関係：総務局 職員部 人事課
○予算関係：財政局 財政部 財政課
○総括関係：市長政策室 政策調整課

Tel211-2061 (担当) 小角、國方
Tel211-2072 (担当) 木下、加茂
Tel211-2212 (担当) 芝井、加藤
Tel211-2206 (担当) 中田、西村